

平成26年度後期 公開授業 「大阪落語への招待」

大阪市立大学では、学生が受講する通常の授業に一般の方も参加できる公開授業を行っており、「大阪落語への招待」は中でも好評をいただいている公開授業です。扇子や手ぬぐいなどのわずかな道具だけを使い、さまざまな登場人物を描き分け、季節や場の状況を彷彿とさせる「大阪落語」を通して、大阪の文化・芸能について考えます。

今年度も桂春団治一門を講師に迎え、江戸落語との違いや、歌舞伎や音曲との関係など、その歴史や表現の特色を明らかにし、大阪の文化・芸能・市民生活について考える視座を提供しました。

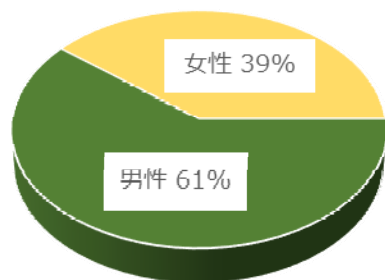


講師 久堀裕朗 (文学研究科准教授)
桂春之輔、桂春雨 他

期間 2014/10/3 (金)～2015/2/6 (金)
【全14回】

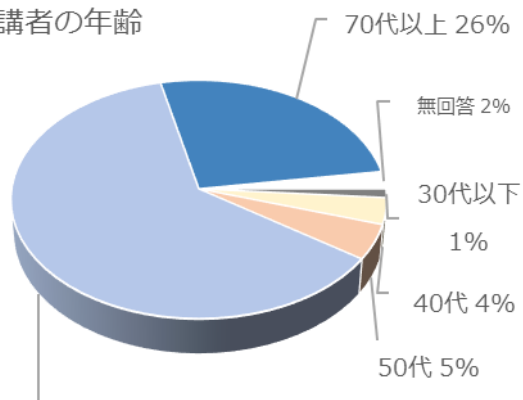
受講者数 130人

受講者の性別



※受講者データより

受講者の年齢



※アンケート結果より



演目「天満の白犬」桂春之輔

受講者の声

- ✓ 今回受講し、大阪落語への興味が増しました。天満天神繁盛亭にも時々寄って生の落語を満喫致しております。
- ✓ 春之輔師匠の毎回の楽しい話や春雨さんの落語を時間の経つのを忘れ聞き入りました。

12/19の授業では「寄席への招待」として、桂春団治一門による本番さながらの寄席が実演されました。

お囃子もある中で、本物の寄席に熱心に聞き入り、笑いの絶えない授業となりました。



演目「稽古屋」桂春雨



演目「佐々木裁き」桂梅団治

最終回の授業では修了証授与式を行い、今年度は91名の一般受講生の方々へ、修了証をお渡しすることができました（全14回中10回以上出席の方が対象）。

受講者の声

- ✓ 一般的に講義とか授業は堅苦しいと思いがち、しかし本公開授業はとにかく楽しく有意義な授業でした。
- ✓ コミュニケーションカード（授業で受講者が講師に提出するコメント）の紹介によって世代の離れた若い人たちの感覚を知ることも刺激になった。